

竪穴住居 住民が手作り

美郷 広島県の児童との交流用

美郷町比敷の住民有志10人が、竪穴住居を建てている。28日から地区で民泊する広島市安佐南区の伴南小児童14人との交流の場にし

て、楽しんでもらう狙い。他にはないもてなし方で歓迎しようと思

った。わらで屋根をふ

き、28日までの完成を

目指す。内部にいろいろと長いすを設け、食事

会や交流会を開く。

地区は2009年か

ら、邑智郡田舎体験交

流協議会主催の児童受け入れ事業に参加。民

泊農家が個別に対応

し、他の住民と交流する機会がなかった。

ことし1月、地区の

新年会で住民が「地域みんなで児童と交流しよう」と提案。地区の

木材を利用して、他に

ない取り組みをしようと

と竪穴住居の建設を決

め、7月から作業を進

めている。

比敷自治会の渡辺勝

之会長(60)は「地域一

丸で活動するきっかけ

にできた。住民同士が

交流する場としても利

用したい」と話してい

る。(黒田健太郎)



骨組みがほぼ完成した竪穴住居